



# 浜松十字の園 ぶどう畑 (別報No.5)

2025年  
冬号

発行／浜松十字の園  
〒431-1304 浜松市浜名区  
細江町中川 7220-11  
TEL 053-436-9535  
FAX 053-437-1352

## ☆☆ 浜松十字の園リニューアル計画 ☆☆ 広報

### 改築の事前工事が始まりました。

2025年7月からさつき棟の解体、その跡地に、地階に厨房と交流ホール、1階と2階にユニット型介護老人福祉施設を開設する建設工事が始まります。

建設工事中は、現在さつき棟にご入居されている方に本体施設に移っていただくなど、本体施設に居室や設備等を仮に設置していきます。現在、その為の事前準備として具体的に工事等が始まりました。

### 3階門扉設置工事(キックオフ!)



浜松十字の園の本体施設の3階には職員寮があり、現在7部屋が空いています。さつき棟が無くなると、確実にスペースが狭くなりますので、3階寮の部屋のスペースは大きな強みになります。その為、これまで本体施設と3階寮はフェンスで仕切られていて行き来しにくかったのですが、フェンスの一部を門扉に改修して、行き来しやすくしました。小さな工事ですが、とても意義が大きく、今回の工事のキックオフ工事といった思いで最初に取り組みました。

### 3階職員寮のリフォーム・清掃



3階寮の空き部屋は、職員の休憩室や会議室、物置などに使用します。また、改築後の大切な担い手として5月頃から4人の技能実習生を受け入れる予定です。

その為の準備として、トイレ改修や壁紙の張替えなどリフォームや清掃をしました。

### 通用口庇新設とインターホン設置工事

本体施設にある現在の来客者等の正面玄関は、改築中は使用できなくなります。その為、在宅棟と本体施設の連絡通路にある通用口を来客者用玄関として使用します。その通用口に雨除け等のための庇を設置しました。

また、仮設中の事務所・相談室は、現在の喫茶室に移りますが、喫茶室との距離があるためカメラ付きのインターホンを設置しました。



### 「新たな一歩」

2025年は十字の園が認可を受け、65年を迎えます。当時は家族総出で高度成長へ向かう生活様式の大きな変化により、寝たきりの高齢者を取り残されてしまいました。十字の園はその方々に支援を届けるため始まりました。先達の築かれた礎のもと、新たな一歩を踏み出して参ります。

皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

理事長 鈴木淳司

## さつき棟書庫からお宝？発見

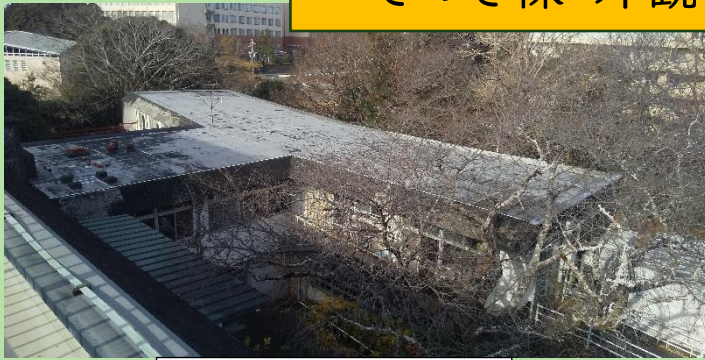
改築準備のため、さつき棟内にある書庫の片付けをしていたら、何十年もしまい込まれていた掛け軸や絵画が出てきました。誰の作品なのか、誰がしまったのか分からず、誰も見ようとしなかったのを捨てようとしていました。でも、何となく気になったので平井前理事長に聞いてみようということになり、見てもらったところ、昔十字の園に寄贈されたもので、棟方志功の弟子の渥美大童の作品ということが判明しました。

インターネットで調べたところ、渥美大童は、1911年埼玉県行田市に生まれ、父岳堂の指導により書の道へ進みました。後に棟方志功に師事し、板業の道に入ります。日本版画院創立時に、埼玉支部長などを務め、棟方志功の後援会設置に際しては会長を歴任し、スペイン美術展などでも数々の賞を受けたとのこと。作品の価値は未だ私には分かりませんが、作者や昔寄贈されたものであることを知ると、特別で大切なものであると感じます。危うく捨てる所でした。



作者：渥美大童  
現在、経歴等を記して浜松ディアコニッセ母の家資料館に展示しています。

## さつき棟 外観



東面 本館屋上より南東から



西側面 正門より西から

## 完成予定図

2026（令和8）年12月完成予定



浜松十字の園の広報誌「ぶどう畑」春夏秋冬の年4回の発行に合わせ、改築に関する情報を別報として一緒に発行しております。ご高覧頂ければ幸いです。今後ともご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。 施設長宮島克利